

## 揖斐農林事務所の普及活動状況 令和4年5月31日現在

### ぎふ農業・農村を支える人材育成

#### ■新規就農研修生 揖斐地域新規就農研修開始式・第1回就農支援協議会

5月25日にJAいび川担い手サポートセンターにおいて、令和4年度就農研修開始式及び第1回揖斐地域就農支援協議会を実施した。新たに1名の研修生が研修拠点であるJAいび川担い手サポートセンターで新規就農にむけて研修に取り組む予定で、研修生の抱負を受け、揖斐農林事務所副所長が激励を行った。

また、式終了後の就農支援協議会では、今年度の活動について検討した。農業普及課は、関係機関と連携しながら、就農相談や研修の実施など営農定着に向けた支援を行っていく。



【研修開始式】

#### ■新規就農希望者 揖斐地域就農支援協議会が「ぎふアグリチャレンジフェア」に参加

5月21日にOKBふれあい会館（岐阜市）で、ぎふアグリチャレンジセンター主催の「ぎふアグリチャレンジフェア」に揖斐地域就農支援協議会が参加した。ブースを訪れた希望者に対し、揖斐地域の農業の特徴や就農支援体制について説明を行った。前年度は、新型コロナの影響で中止であったため、新規就農希望者と直接面談できるよい機会となった。資材や燃料費が高騰する中で就農することは容易ではないが、リスクを踏まえた上での就農を考えて貰えるよう情報提供を行った。



【相談ブース】

#### ■担い手 アスパラガス帰農塾開講

揖斐地域では平成23年からアスパラガスの新産地化に向けた取り組みで、「アスパラガス帰農塾」を開催している。

本帰農塾は揖斐アスパラガス部会とJAいび川、揖斐農林事務所の共催で行い、年4回の講義と1回の視察研修が実施している。5月21日に第1回の講義が開催され、応募した4名が出席した。開講式後、農業普及課よりアスパラガスの栽培概要や、播種から定植までの栽培管理について説明を行った後、参加者全員で播種の実習を行った。今回播種したアスパラガスは、各自持ち帰り管理し、次回の定植実習に使用する予定である。

農業普及課では、今後も帰農塾を開催し、新規就農者の育成と産地拡大を進めていく。



【播種作業を行う受講生】

#### ■担い手 小学校で柿の課外授業の実施

大野北小学校では、3年生の生徒が課外学習の一環で、地元大野町の柿の栽培管理等について勉強している。

5月18日に、30名の児童が校庭の富有柿の樹で摘蕾作業を実施した。講師は地元柿生産者3名及び農業普及課が担当し、生徒に蕾を1枝の一つに摘蕾する作業を指導した。

生徒らは初めて行う摘蕾作業に戸惑いながらも熱心に作業を実施し、「作業が楽しかった、柿栽培に興味があった」等の声が聞かれた。



【摘蕾作業を行う小学生ら】

## ■担い手 幼稚園・小学校茶摘み体験

揖斐川町では一番茶の摘採が始まる中、町内の幼稚園・小学校 85 名が（農）桂茶生産組合の茶畑と茶工場を訪れ、茶摘みの体験を行った。

講師は組合員と農業普及課が担当し、「一芯二葉」での茶摘み指導を行い、摘んだ芽の数を競いながら楽しんで体験を行った。茶摘み後は工場の中を見学し、普段見ることのできない機械を見て興奮した様子が見受けられた。

最後には今年が一番茶で入れた冷たいお茶が振舞われ、「普段飲んでいるペットボトルのお茶と全然違う！」などの声がたくさん聞かれた。



【摘んだ芽の数を競い合う児童】

## ぎふ農畜水産物のブランド展開

### ■かき 大野町果実共同選果場竣工

5月20日、生産者代表、県議、県、町、JA関係者らが参集し、大野町果実共同選果場の竣工式が行われた。神事のあと出席者に選果場内が披露された。

今回の改修工事により、選果機が最新のフリートレイ式に改修され、さらに糖度センサーや自動箱詰め機が導入され、果実の品質向上やブランド力アップ、選果場の人員削減と省力化を図ることが可能となった。

9月の月上旬から始まるかきのシーズンを前に、「大野のかき」のブランド化に向け力強い施設が整った。農業普及課では選果場を拠点としての生産振興の支援を引き続き進めていく。



【竣工式・起動式の様子】

### ■柿・揖斐果樹振興協議会 環境モニタリング装置の設置

大野町かき振興会と関係機関で構成される揖斐果樹振興協議会では、令和4年度からみどりの食料システム戦略緊急対策のグリーンな栽培体系への転換サポート事業に取り組んでいる。

スマート農業の取り組みとして、環境モニタリング装置（クロープナビ）を5月10日に大野町内3か所に設置しモニタリングを開始した。今後はモニタリングデータを活用し栽培環境条件と果実の生育、障害果実発生との関係等を解析し、高品質果実生産へとつなげていく予定である。



【クロープナビ設置風景】

## 中山間地域を守り育てる対策

### ■揖斐地域特産農産物 振興チーム会議の実施

5月10日に揖斐川町、JA、農業普及課で、地域特産農産物の振興にむけたチーム会議を開催した。揖斐川町内で推進をしている4品目（沢アザミ、とうがらし、金ごま、わさび）の他、3月末に飛騨・美濃伝統野菜に認定された3品目（春日豆、春日きゅうり、こんぶり）について、消費者への周知方法、生産技術の向上、生産・販売体制づくり等、今年度の計画を検討した。今後は、品目ごとに設定した課題解決に向け、各担当者が農業者や関係者と連携して活動を進め、チーム会議で進捗状況を共有していく。



【チーム会議の様子】